

# 船橋市保育のあり方検討委員会に 問われていること

東洋大学社会学部教授  
森田明美

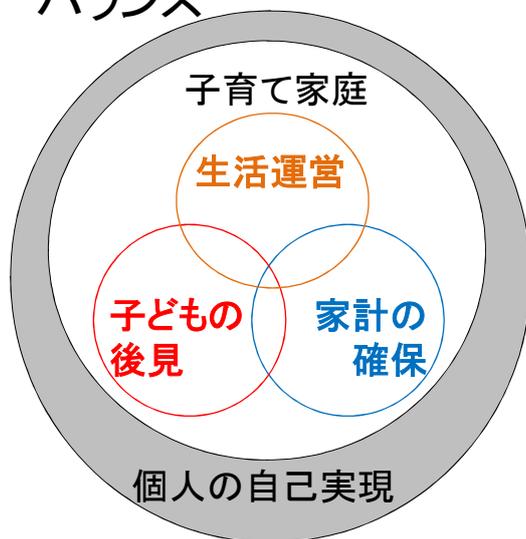
1

## 報告内容

- 子育て家庭が抱える問題とは  
あいプラン策定から見えてきたこと
- 船橋市の現状
- 現代の保育動向
- 今後の検討課題

2

## 子育て家庭の役割と個人の自己実現の バランス



- 家計の確保  
←就労支援・経済支援
- 生活運営  
(家事・育児など)  
←生活支援
- 子どもの後見人としての  
役割(権利実現者)  
←子どもの権利知識、  
技術や意識、考え方
- 個人の自己実現  
←ジェンダーの視点

3

## 子育て家庭が抱える問題とは

あいプラン策定のための調査結果から(1)

(平成14年度前期調査と平成20年度後期調査の比較)

子育てで感じることは？ (就学前)

・子どもの顔を見ると気持ちが安らぐ

・・・98.4%→98.8%

・子どものことでどうしたらよいか

わからなくなる

・・・63.9%→64.4%

⇒依然としてプラスとマイナスの感情が交錯

4

## 子育て家庭が抱える問題とは

あいプラン策定のための調査結果から(2)

(就学前調査と市民調査)

### 子どもに対して地域社会に望むこと

- ・道で会った時に気軽に声を掛けてほしい
  - …<就学前> 59.3% <市民> 36.8%
- ・子どもが良くないことや危険なことをしているのを見かけたときは注意してほしい
  - …<就学前> 79.1% <市民> 59.7%

⇒ 地域社会の関わりが少ない

5

## 子育て家庭が抱える問題とは

あいプラン策定のための調査結果から(3)

(中高生調査)

- 自分のことや考えについて
    - 自分のことが好き【いいえ】 かつ
    - 自分は人から必要とされている【いいえ】 かつ
    - 自分のことは誰もわかってくれない【はい】 かつ
    - まわりの人とあまり違わないようにしている【はい】 かつ
    - 友達との関係はお互いに深入りしないようにしている【はい】
- ⇒ 孤立した状況の中高生が3.7%

6

## 子どもの育ちの課題(1)

－自己肯定感の低さ(中高生調査 H20.12・H15.6)

質問	回答	20年度			15年度
		中学生	高校生	全体	全体
(a)自分のことが好き	そう思わない	68.7%	67.1%	67.5%	60.8%
(b)自分は人から必要とされている	そう思わない	65.4%	58.8%	62.9%	69.2%
(c)自分のことは誰もわかってくれない	そう思う	25.7%	25.0%	25.2%	27.9%
(d)まわりの人とあまり違わないようにしている	そう思う	36.1%	32.9%	34.8%	39.3%
(e)友達との関係はお互い深入りしないようにしている	そう思う	29.8%	27.1%	29.0%	30.4%

※5項目すべてに回答があった生徒を母数にした。

※回答率には「ややそう思う」「ややそう思わない」の回答を含む。

7

## 子どもの育ちの課題(2)

－自分自身についての考え方や態度

(中高生調査 H20.12・H15.6)

年度	区分	総数	5項目すべて	(a)を除く 4項目	(b)を除く 4項目	(c)を除く 4項目	(d)を除く 4項目	(e)を除く 4項目	3項目以下
20	全体	1,061	39	10	4	46	41	29	892
		100.0	3.7	0.9	0.4	4.3	3.9	2.7	84.1
	中学生	821	27	8	3	37	34	23	689
		100.0	3.3	1.0	0.4	4.5	4.1	2.8	83.9
	高校生	240	12	2	1	9	7	6	203
		100.0	5.0	0.8	0.4	3.8	2.9	2.5	84.6
15	全体	1,399	63	15	6	58	47	55	1,155
		100.0	4.5	1.1	0.4	4.1	3.4	3.9	82.6

※abの設問に否定、cdeの設問には肯定

(上段:人 下段:%)

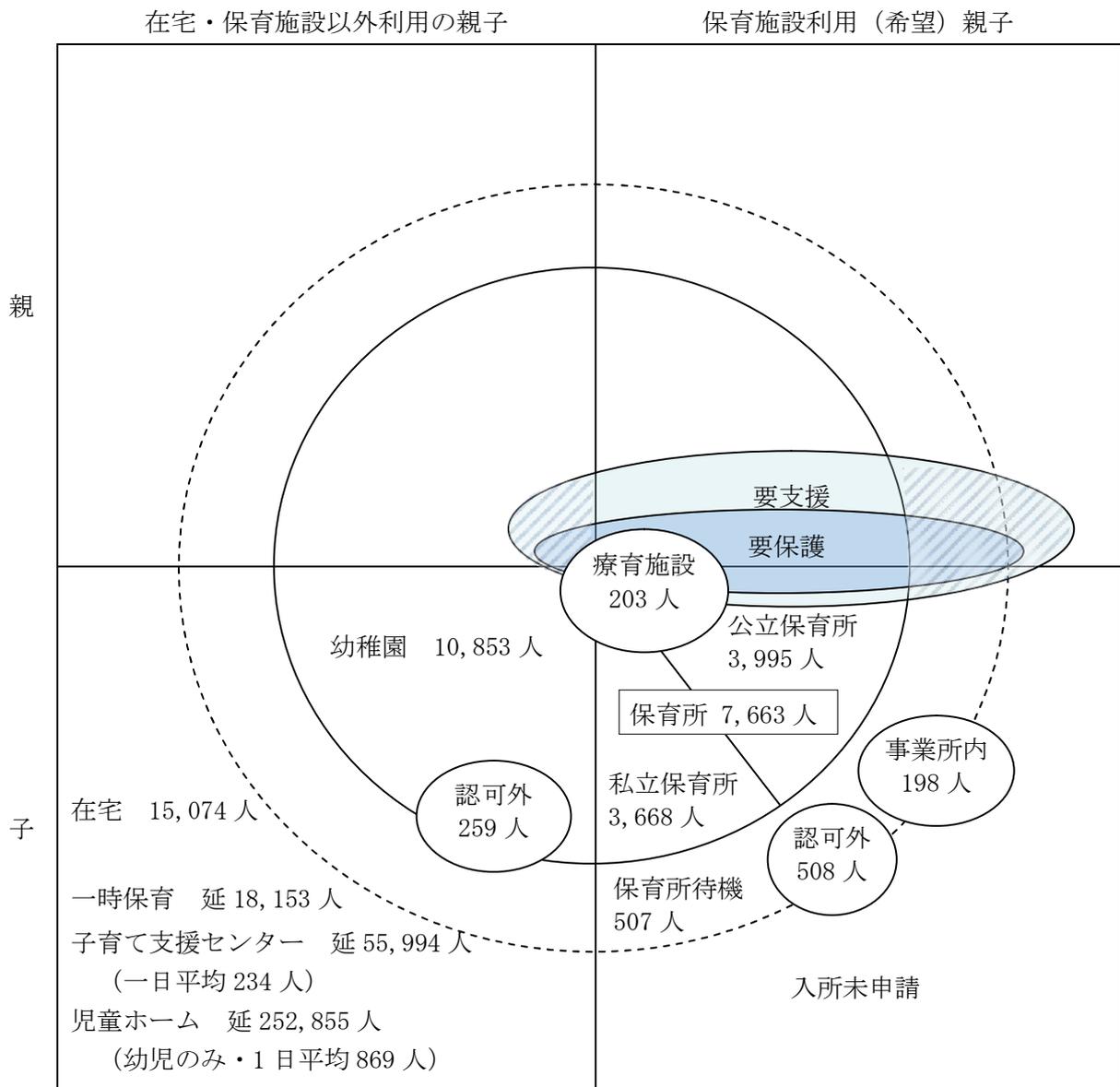
※総数は、5項目すべてに回答があった人

⇒ 孤立した状況の中高生が3.7%

8

# 船橋市の現状 (1)

## ○概念図



### 要保護

生活保護受給世帯	183 人
虐待ケース対象児童	99 人

### 要支援

外国人登録人口	512 人
児童扶養手当認定世帯児童	717 人
障害児	227 人

## 船橋市の現状（2）

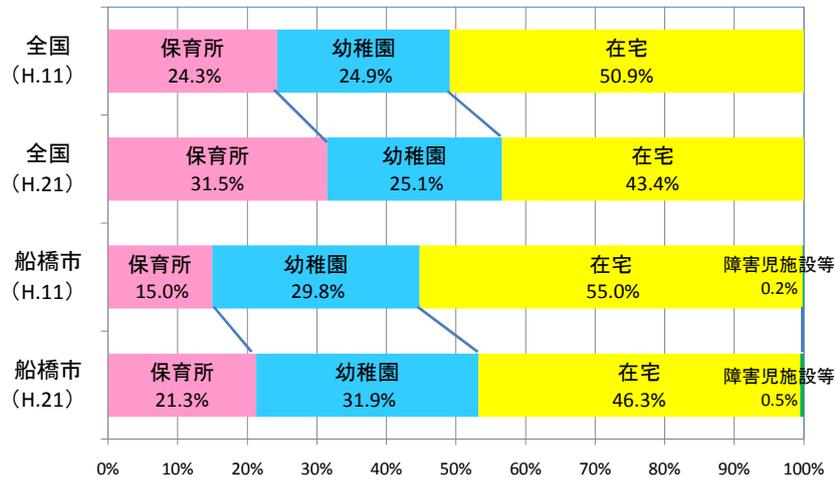
○生活保護受給世帯・外国人世帯・ひとり親世帯・虐待ケースの児童数（平成22年4月1日現在）

（単位：人）

	全数	保育所		備考		
		公立	私立			
生活保護受給世帯	183	117	70	47	保育所入所率 64%	
虐待ケース対象児童	99	43	29	14	保育所入所率 43%	
外国人世帯	母が外国人		101	66	35	市全体の数値は、0～5歳の外国人登録人口
	父が外国人		103	66	37	
	父母ともに外国人		128	74	54	
	計	512	332	206	126	
ひとり親世帯	母子	717	707	364	343	<ul style="list-style-type: none"> <li>市全体の数値は、H22.4.1現在の児童扶養手当認定世帯（母子家庭）の就学前児童数</li> <li>保育所入所児童数は、祖父母同居を含む</li> </ul>
	父子	0	44	21	23	
	計	717	751	385	366	
障害児	227	69	61	8	市全体の数値は、身体障害者手帳又は療育手帳所持者数	
計	1,738	1,312			保育所入所全体の 17.1%	

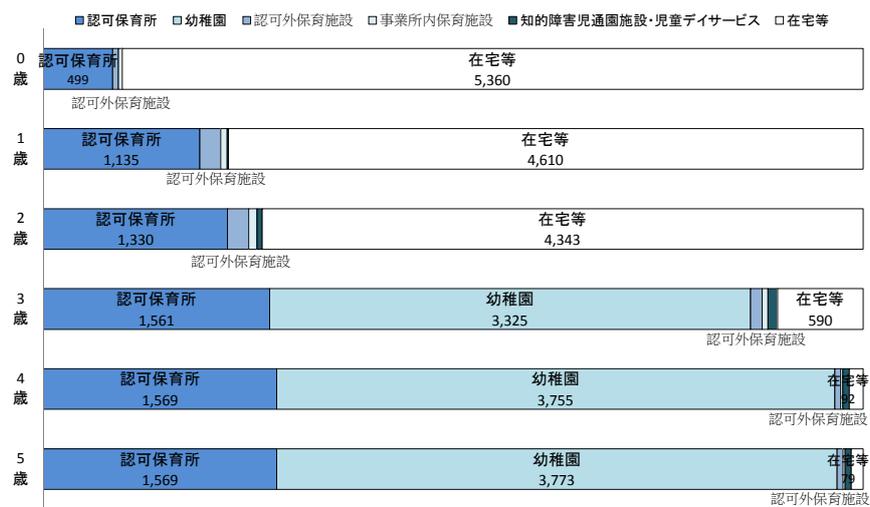
※全数、保育所入所数いずれも重複が含まれる。

## 就学前児童の状況（全国と船橋市）



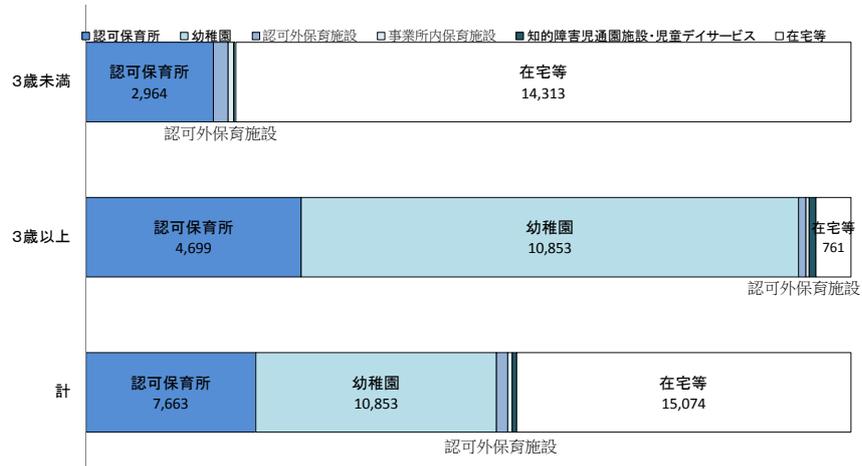
9

## 船橋市の就学前児童の状況（年齢別）



10

## 船橋市の就学前児童の状況 (3歳以上・未満児別)



11

## 議論が必要なこと

1. 保育所に希望しているが入園できない待機児への効率的な対応
2. 地域で暮らす乳幼児期の子ども(特に3歳未満児親子)と家族への支援のあり方
3. 保護を必要としている子どもと子育て家庭への地域支援体制
4. 保育施設など子育て支援施設の役割分担と連携
5. 既設保育所の耐震対策、保育の環境整備と質の担保

12

## 特別な問題を抱える子どもと家庭とは

子どもや子育て家庭が抱える特別な問題への対応をどのように役割分担するか？

— 全体で分担するか、運営形態での分担か？

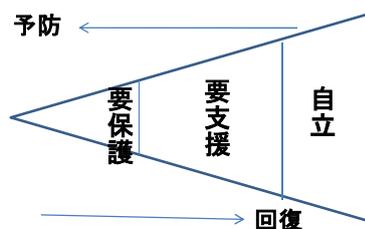
- ①障がい児や病児
- ②被虐待児(家庭)
- ③母語を外国語とする子どもと家庭
- ④ひとり親家庭
- ⑤貧困家庭

13

## 支援を必要とする(要支援)世帯への対応

児童相談所、子ども版地域包括支援センターとしての機能

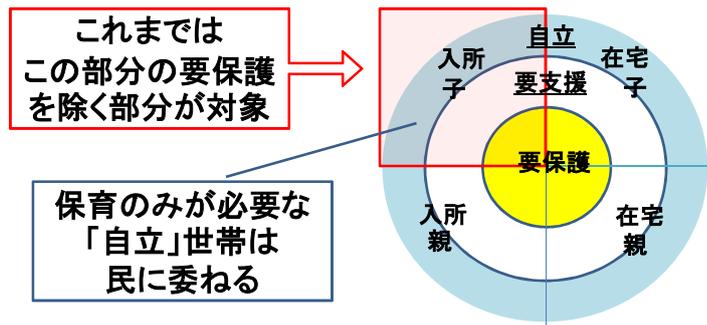
- 予防機能・・・自立世帯が保護世帯にならないように
- 回復機能・・・保護世帯の自立支援



14

## ②在宅子育て家庭への支援

- 地域に出て行き、在宅で支援の必要な親を支援していく



15

## 現代の保育の動向(1)国

「子ども・子育てビジョン」、「子ども若者ビジョン」、  
「子育て新システム」

- ①子ども家庭局(2010.6庁/省)
- ②幼保一体化(2011目途)
- ③認可保育所の一般財源化議論(自治体主権と子ども支援の攻防)
- ④最低基準大都市緩和(質と量の攻防)
- ⑤保育制度改革議論(2009.2提案)凍結解除

16

## 現代の保育の動向(2)国

### 社会保障改革推進懇談会報告

(内閣府・平成21年6月18日)から

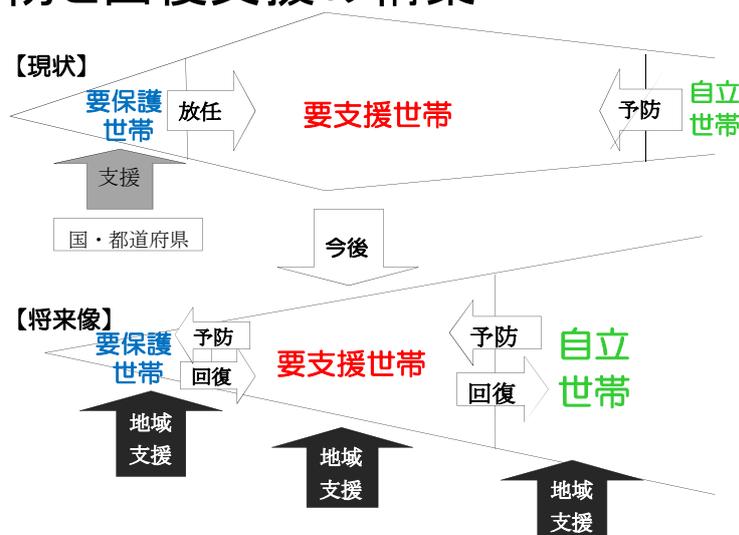
保健医療・福祉サービスの体系は複雑であり、利用者がこれらのサービスを十分に活用するためには、日常生活圏域において、これらのサービスを適切にマネジメントするサービスの提供が不可欠である。

子どもや子育て家庭を含めた地域住民全体を支える地域包括ケアシステムの在り方について、早急に検討すべきである。

⇒ 船橋市ではどうするのか？

17

## 子育て世帯の地域での暮らしを支える 予防と回復支援の構築



18

## 子育て支援の今後の方向～市民活動との協働で

